

平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 アサヒペン
 コード番号 4623 URL <https://www.asahipen.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田耕吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石尾維英
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6930-5018

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	10,678	1.4	584	2.7	679	0.7	457	0.5
30年3月期第3四半期	10,530	2.4	600	16.6	684	13.1	454	16.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 401百万円 (48.2%) 30年3月期第3四半期 774百万円 (1.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	106.41	
30年3月期第3四半期	104.50	

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	18,331		12,374			67.5
30年3月期	18,957		12,419			65.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 12,374百万円 30年3月期 12,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				5.50	5.50
31年3月期					
31年3月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合の影響を考慮しない場合の平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円50銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	5.3	650	8.2	750	9.4	510	0.6	118.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成31年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。株式併合の影響を考慮しない場合の平成31年3月期の連結業績予想(通期)の1株当たり当期純利益は11円87銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	4,623,000 株	30年3月期	4,623,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	422,232 株	30年3月期	305,475 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	4,296,466 株	30年3月期3Q	4,354,057 株

(注) 当社は、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成30年6月28日開催の第72期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。併せて同日付で単元株式数を1,000株から100株へ変更しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成31年3月期の配当予想及び連結業績予想(通期)は以下のとおりとなります。

- (1) 平成31年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 5円50銭
- (2) 平成31年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 11円87銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連を中心に企業の業績が堅調であることなどに支えられ、雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調が続く一方、英国のEU離脱や米中貿易摩擦を巡る影響など不透明感を拭えない状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境といたしましては、日常生活関連商品に対する根強い低価格志向が続くなかで、企業間の価格競争が激しく、依然として厳しい状況が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品の投入、販路の拡大、各種メディアを利用しての販売促進など、積極的な営業活動を展開いたしました。その結果、上期は台風、豪雨など悪天候の影響を受けたものの、秋には天候に恵まれたこともあって、当第3四半期連結累計期間の売上高は106億7千8百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

収益面では、グループ企業一体となって経営の効率化に努めましたが、原材料及び物流費の高騰の影響を受けて、営業利益は5億8千4百万円（前年同期比2.7%減）、経常利益は6億7千9百万円（前年同期比0.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千7百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<塗料事業>

当事業では、主力である家庭用塗料の売上が秋の需要期に堅調に推移したことから、売上高61億3千万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益4億6千8百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

<DIY用品事業>

当事業では、売上高は前年同期並みの44億3千9百万円となりましたが、セグメント利益は園芸用品事業における物流費高騰等の影響を受けて9千1百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

<その他>

その他の事業は、売上高1億8百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益2千5百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は183億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億2千6百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が6億5千4百万円、有価証券が2億円、商品及び製品が4億5千4百万円減少したことと、受取手形及び売掛金が6億6千8百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は59億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億8千万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が2億6千5百万円、役員退職慰労引当金が1億7千7百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は123億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千5百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2億1千9百万円増加したことと、自己株式が2億9百万円増加、その他有価証券評価差額金が6千4百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は67.5%（前連結会計年度末は65.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,675,992	4,021,530
受取手形及び売掛金	3,230,657	3,898,794
有価証券	300,597	100,000
商品及び製品	2,579,672	2,125,198
仕掛品	23,938	26,353
原材料及び貯蔵品	196,601	212,845
その他	129,816	110,420
貸倒引当金	△11,520	△13,026
流動資産合計	11,125,756	10,482,116
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,462,153	3,440,232
その他(純額)	1,627,331	1,616,180
有形固定資産合計	5,089,485	5,056,412
無形固定資産		
	196,677	231,133
投資その他の資産		
投資有価証券	2,119,163	2,133,157
その他	450,294	454,312
貸倒引当金	△24,174	△26,099
投資その他の資産合計	2,545,283	2,561,370
固定資産合計	7,831,445	7,848,916
資産合計	18,957,201	18,331,032
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,423,713	1,158,374
短期借入金	710,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	139,845	28,132
引当金	126,135	71,382
その他	569,962	541,335
流動負債合計	3,569,655	2,989,225
固定負債		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	—	100,000
役員退職慰労引当金	230,729	53,277
退職給付に係る負債	877,696	883,481
資産除去債務	35,162	35,162
その他	324,703	395,837
固定負債合計	2,968,291	2,967,758
負債合計	6,537,947	5,956,983

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,869,017	5,869,017
資本剰余金	4,166,534	4,166,534
利益剰余金	2,186,064	2,405,794
自己株式	△502,924	△711,938
株主資本合計	11,718,692	11,729,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744,549	680,179
退職給付に係る調整累計額	△43,987	△35,539
その他の包括利益累計額合計	700,562	644,639
純資産合計	12,419,254	12,374,048
負債純資産合計	18,957,201	18,331,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	10,530,915	10,678,020
売上原価	6,868,786	7,009,754
売上総利益	3,662,129	3,668,266
販売費及び一般管理費	3,061,786	3,083,841
営業利益	600,342	584,424
営業外収益		
受取利息	32,029	30,481
受取配当金	31,563	40,532
受取地代家賃	50,806	50,402
その他	32,979	35,306
営業外収益合計	147,380	156,722
営業外費用		
支払利息	14,227	8,656
その他	48,970	53,014
営業外費用合計	63,198	61,670
経常利益	684,523	679,476
特別利益		
受取保険金	—	25,406
特別利益合計	—	25,406
特別損失		
減損損失	2,173	2,162
固定資産圧縮損	—	9,630
特別損失合計	2,173	11,793
税金等調整前四半期純利益	682,350	693,089
法人税、住民税及び事業税	201,533	125,747
法人税等調整額	25,829	110,148
法人税等合計	227,362	235,895
四半期純利益	454,987	457,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	454,987	457,193

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	454,987	457,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305,077	△64,370
退職給付に係る調整額	14,718	8,448
その他の包括利益合計	319,796	△55,922
四半期包括利益	774,783	401,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	774,783	401,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債(その他)に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	塗料事業	D I Y用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,983,742	4,437,216	10,420,958	109,956	10,530,915
セグメント間の内部売上高又は 振替高	37,344	—	37,344	—	37,344
計	6,021,086	4,437,216	10,458,303	109,956	10,568,259
セグメント利益	463,259	114,645	577,905	26,405	604,311

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	577,905
「その他」の区分の利益	26,405
セグメント間取引消去	△3,968
四半期連結損益計算書の営業利益	600,342

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	塗料事業	D I Y用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,130,654	4,439,081	10,569,735	108,284	10,678,020
セグメント間の内部売上高又は 振替高	22,588	—	22,588	—	22,588
計	6,153,243	4,439,081	10,592,324	108,284	10,700,608
セグメント利益	468,494	91,564	560,059	25,272	585,331

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス業及び賃貸業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	560,059
「その他」の区分の利益	25,272
セグメント間取引消去	△907
四半期連結損益計算書の営業利益	584,424